

The International Federation of Library Associations and Institutions (IFLA:国際図書館連盟) ; Health and Biosciences Libraries Section(HBS)活動紹介

佐藤 正恵

IFLA HBS ; Corresponding Member

1. IFLA(イフラ)とは

IFLA は、図書館情報サービスとその利用者の利益を代表する主要な国際機関であり、図書館と情報専門職のための組織である。IFLA は独立した国際的な非政府・非営利の団体であり、スコットランドのエジンバラで 1927 年に設立された。現在は世界 140 カ国以上約 1,400 人の会員を有する。1971 年よりオランダのハーグにある王立図書館(オランダ国立図書館に該当)に本部が設置されている。IFLA のねらいは、図書館および情報サービスの提供および高水準の推進である。中でも IFLA は国連防災局 (UNISDR) の「SENDAI Framework(仙台防災枠組)」(2015-2030)と連携している。新たな防災と既存の防災のための行動のための原則と優先事項において、図書館は文化遺産を保護すると共に、二次的な救急サービス提供や健康知識ネットワークのノード(接点, 中心点)である。

2. Health and Biosciences Libraries Section (HBS)

IFLA には 44 のセクションがあり、HBS セクションは健康とバイオサイエンス関係の図書館に関する活動を行っている。その目的は、生物科学図書館と健康科学図書館の間の協力の促進や関連する新しい技術の開発と適用の促進、消費者へのヘルスケア情報のより良い提供のための手段の検討、生物学および医学科学図書館の国内および国際図書館協会間の協力活動の促進、世界保健機関(WHO)および他の関連国際機関との協力の促進である。特に IFLA Evidence for Global and Disaster Health Special Interest Group[E4GDH]は、2018 年から 4 年間のプロジェクトである。地球規模および災害時の健康に関するエビデンスに関して、図書館員とそのサービスが果たす重要な活動に対し、災害への備えやリスクの軽減など情報の編集・評価・展開を行っている。

3. 年次大会

毎年 7-8 月に年次大会が下記のように世界各地で開催され、世界から 3,000 人以上が参加している。日本ではかつて 1986 年に第 52 回東京大会が開催された。年次大会では会議や講演、ポスター発表のほか、現地のライブラリーツアーも数多くのコースが用意される。

2021 年 : EU(予定)*プレトリア(南アフリカ)第 13 回医学図書館員会議 (ICML) 開催

2020 年 : (未定) 2019 年 : アテネ(ギリシャ)

2018 年 : クアラルンプール(マレーシア) 2017 年 : コロンバス(アメリカ)

【参考資料】 IFLA Web サイト <https://www.ifla.org/>